

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY 明石大久保校				公表日	2026年 2月 16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5	職員間で安全面について工夫していき、教具棚を移動するなどスペースを確保しながら、安全に配慮していきます。	児童の人数や教具棚が多い場合は、利用時間の調整や教具の配置について工夫していくようにしていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	利用定員や利用児童に合わせて適切な配置にすることが出来ています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	利用児童が使用するものについては、いつも自分の意思で使用することができるよう環境を設定しています。	引き続き、利用児童にとって良い環境を提供できるように整備していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	日常的に清掃・消毒を行い、安心して過ごすことが出来るように配慮しています。	今後も周りに配慮しながらマットの上で活動するなど、配慮して支援をしていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	7	別室はありませんが、必要に応じて個別に関わり、落ち着いて過ごすことが出来るよう工夫しています。	利用人数の調整や活動の場所を事前に決めておくなどして、適切なスペースを利用することが出来るようにしていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	朝礼や朝礼日誌などで情報を共有し、また校内でのミーティングを行い、支援のために今後どうしていくべきかを話し合うことが出来ています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	保護者向け評価表を年に一度実施しており、改善すべき点を話し合うことが出来ています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	朝礼時や事前に話し合いを行い、支援や業務に向かうことが出来ています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	第三者評価は行っておりませんが、今後は必要に応じて検討していきたい。	現在は、行っておりませんが今後は必要に応じて検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	月に一度以上の研修があり、資質や知識・技術の向上に向けて取り組んでいます。		
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	ホームページ上に、支援プログラムを掲載しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	保護者との面談やアセスメント、職員間のミーティング等により、利用児童に適切な個別支援計画を作成するようにしていきます。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が計画した個別支援計画を全員に周知し、共通理解のもとで支援を行うことが出来ています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	個別支援計画をいつでも閲覧できるようにし、計画を基に日々の支援を行い、振り返りについても共有することができています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	利用児童の状況を朝礼日誌などで共有し、日々の行動観察などの記録を共有することが出来ています。		

適切な支援の提供	16 周囲発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	それぞれの項目について、適切なねらいや支援内容を設定し、また具体的な支援内容も盛り込んでいます。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	校内のミーティングや朝礼時などにチームで支援プログラムの立案を行うことが出来ています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	利用児童の取り組みの様子を共有し、日々活動プログラムが固定化しないように工夫することが出来ています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	基本的には個別活動と集団活動を両方取り入れるようにしています。また利用児童の特性や発達状況に応じて支援形態を変更しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	その日の支援内容を話し合い、役割分担などについても共通認識を持つことが出来ています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援が終わった後や次の日の朝まで、ヒヤリハットを含めた支援の振り返りを行うことが出来ています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々記録を取り、支援の検証や改善につなげています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行うことが出来ています。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	相談支援事業所の担当者と直接会議を行っておりまます。	
	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	保育園や幼稚園などの連携は行っており、日々の利用児童の状況を把握するようになっています。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	希望される保護者様に対しては、園訪問などを実施しております。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4	ご要望に合わせて、小学校や特別支援学校との連携を行っていきたいと考えています。	
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)			現在、地域の児童発達支援センターとの連携は実施しておりません。	現在は、実施ができないが今後は状況に応じて検討をしていきたい。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	現在、地域の施設との連携や交流は実施しておりません。	現在は、交流の機会がないが今後は必要に応じて検討をしていきたい。

	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時やインターネット上の情報の共有を行い、共通理解ができるようにしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	茶話会や懇談などで情報提供が行えるようになっています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に運営規定、支援プログラム、利用者負担などについてご説明させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	利用児童の最善の利益を考慮しながら、利用児童やご家族の意向を確認する機会を設けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	懇談などの際に、児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明を行ったうえで同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	懇談や面談の機会に悩みや相談に応じ、必要に応じて個別に面談の機会を設けております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	茶話会の機会を開催し、保護者同士で交流する機会を提供しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	保護者の相談や申し入れに関して、随時聞き取りや対応をしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	マンスリーレポートを配布し、日々の情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取り扱いについて、十分配慮しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	利用児童や保護者に寄り添った支援をし、意思の疎通や情報伝達ができるよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		保護者の意向を踏まえながら必要な行事や機会があれば検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	マニュアルを完備し、それぞれの状況に応じた訓練を行っております。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画を策定し、定期的に訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	そのような利用児童がおられる場合は状況の把握に努めています。	現在は、対象となるお子さまがいらっしゃらないですが今後は対象児童がいた場合に状況の把握などを徹底していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	そのような利用児童がおられる場合は状況の把握に努めています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を作成し、定期的に備品や周辺状況の確認を行っております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画を作成し、計画に基づいた取り組みを行った際はマンスリーレポートに掲載しております。	

	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットを共有し、その度に再発防止に向けたミーティングを行っております。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止委員会を設置し、研修を行っております。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	現在身体拘束を行う場面がございませんが、必要に応じて個別支援計画に記載をしていきます。	